

キャンプ ウエーブ



2017.9 vol.395

CONTENTS

- 青少年センターニュース
わくわく体験クラブ「親子ポスター教室」を開催しました！
- お知らせ
・ 四季の行事教室「お月見のつどい」参加者募集
・ ちびっ子科学スクール「太陽光を活かして」参加者募集
- 開館・イベントカレンダー
- センター長のひとこと

<編集・発行>

豊橋市青少年センター

(指定管理者: 認定特定非営利活動法人 愛知ネット)

〒441-8087 豊橋市牟呂町字東里26

TEL: 0532-46-8925 FAX: 0532-46-8975

E-Mail: info@toyohashi-yc.jp

URL: <http://toyohashi-yc.jp/>

7月28日 親子ポスター教室(2日目)の様子

青少年センター ニュース

わくわく体験クラブ

「親子ポスター教室」 を開催しました！

7月27日・28日の2日間で、わくわく体験クラブ「親子ポスター教室」を開催しました。毎年応募者多数のため、抽選を行って参加者を決定している人気の講座です。

制作のメインは子ども達ですが、親子ポスター教室ということで、保護者の方々にもポスター作りに協力してもらいました。

1日目は、それぞれが決めたテーマに沿ってイメージを膨らませ、そのイメージを汲み取った先生からのアドバイスをもとに、具体的なデザインを下絵にして描き進めました。

2日目はいよいよ色付けです。先生からは絵の描き方はもちろん、筆や水の使い方、道具の置き方まで丁寧にアドバイスしていただきました。

ゆったり構えて子どもを見守るお父さん、先生さながら熱心に指導をするお母さん、勢いあまって筆を取って描いている方も...？親子での共同作業も各家庭さまざまでした。

計4時間という限られた時間の中、完成させるのはなかなか難しかったかもしれませんが、ポイントをついた先生のアドバイスで、みなさん思い思いのポスターが描けたようです。

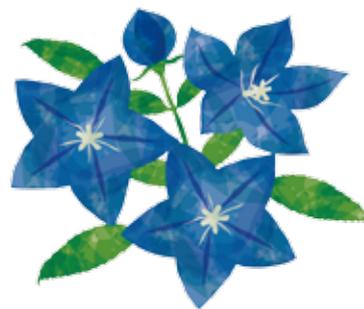
今後も絵を描く機会がたくさんあることでしょう。テーマの絞り方、下絵の描き方、色の塗り方など、親子で学ぶ良い機会になったと思います。



役に立つ情報はお知らせコーナーで！！

青少年センターからの

お知らせ



四季の行事教室

「お月見のつどい」 参加者募集

お月見にちなんだゲームやお月見団子作りなどを行います。ぜひご家族でご参加ください。

と き：9月30日(土) 午後1時～3時
 ところ：豊橋市青少年センター(牟呂町字東里26)
 対 象：市内在住の小学生とその家族
 ※4年生以上は小学生のみの参加可
 定 員：50人(申込み順)
 参加費：100円(材料費)
 申込み：9月1日(金)より青少年センターへ
 お申込みください。(TEL:0532-46-8925)



ちびっ子科学スクール 「太陽光を活かして」参加者募集

工作・実験を行い、楽しく科学を学びましょう。

と き：10月15日(日) 午前10時～12時
 ところ：豊橋市青少年センター(牟呂町字東里26)
 対 象：市内在住の小学4年生～6年生と保護者
 内 容：光電池を使った工作をし、太陽の光を利用した実験をします。
 講 師：野口富雄さん
 (西尾市ちびっ子科学スクール講師)
 定 員：10組(申込み順)
 参加費：700円(材料費)
 申込み：9月5日(火)より青少年センターへ
 お申込みください。(TEL:0532-46-8925)



9月カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1 JAZZ	2 青フェス
3 レク	4 休館日	5 SV	6 ヨガ ココニコ	7 ダンス	8 JAZZ	9
10	11 休館日	12 SV	13 ヨガ 三味線	14 ダンス	15 JAZZ	16
17	18 敬老の日	19 休館日	20 ヨガ ココニコ	21 ダンス	22 JAZZ	23
24 レク	25 休館日	26 SV	27 ヨガ 三味線	28 ダンス	29 JAZZ	30 お月見

【開館時間】 9:00～22:00
 【休館日】 月曜日(祝日の場合はその翌日)

青フェス:青年フェスティバル
 ココニコ:ここにごサークル
 レク:レクリエーション・インストラクター養成講座(9/3は岩田運動公園)
 三味線:楽しく覚える「津軽三味線講座」
 お月見:四季の行事教室「お月見のつどい」

青年講座

SV:ソフトバレーボール
 ヨガ:ヨガ&スモールボール
 ダンス:初めてのヒップホップダンス
 JAZZ:やさしいジャズダンス

【九月のこよみ】

猛暑の夏もあと少しで終わろうとしています。今年の夏はどんな思い出が出来ましたか？

私の思い出は、7月の九州北部豪雨で甚大な被害を受けた、福岡県朝倉市に緊急支援で入り、民家の泥かきや家具運びを手伝った事です。

家の中に入った土砂は、大人10人が半日かかっても、六畳一間の畳が見えるか見えないか位しか進みません。ボランティアの助けが入らないと、家主さんだけでは何ともならない気の遠くなる作業になります。

復旧作業が進み、1日も早く日常生活に戻る事をお祈りするばかりです。

災害の怖さを知ること大切な備えに繋がります。



豊橋市青少年センター長
横山 辰夫